

第200号  
発行所  
新潟県中魚沼郡  
中里村公民館  
毎月1回15日  
定価1部5円



|        |            |
|--------|------------|
| 3月1日現在 |            |
| 人口     | 7,443 (+3) |
| 男      | 3,672 (+3) |
| 女      | 3,771 (0)  |
| 世帯数    | 1,694 (+1) |

カッコ内は前月との比較

## やさやき 如仏

△卒業式のシーズン。春の足音がそこまで聞えながら、猶時折の淡雪、暖かな春風というべきか、証書を手にした子供達が校門を去って行く姿は、何時見ても可憐そのものである。

児童は明るく元気が、生徒はこれからの道が異なるだけに、健康で上級校に、家庭に、職場に、新しい人生を求めて奮闘して下され。決してレールをはずれぬように。

父兄の方、先生方、六ヶ年乃至は九年本当に御苦労さん、みんなみなおめでとう。

儀式の型もいろいろだが、昔老人福祉法の一部改正により、一月一日より老人医療の無料化が実施されたが、これは、おとしりの方が医者にかかった場合、窓口で支払っていた一部負担金を、二十%減額して無料にする。一部負担金がないという事は、社会福祉、老人福祉対策の前進で喜ばしい事ではあるが、現在の制度では皆さんが納める保険料が安くなるということではある。

何故ならば、例えば医療費が

△物価騰貴の元凶を抑えるに立法も考えたが、吉田首相の「自由主義経済を基盤にしている経済活動には不当である」との言にどうとうおっしゃる。どうして田中さんのヒラメキに自民党内部から水をさすのや、天衣無縫の施策を今の場に間に合わせるように望んで切である。

自由主義経済云々というが、そこには社会正義と社会連帯の思想がなければ、弱肉強食の修羅世界の現現となる。むしろ世直しのための一時的統制経済の表現が望ましい。土産公有、土地国有論も同次元の発想である。自民党の若い代議士諸君も充分研究しては、物価安定、土地価格抑制にはまだまだ徹底的に、互いの健康増進に村財政も豊かになる共に福祉行政がそれだけ充実することになりま

である。農地解放の意義を高く評価しながらも、野党の若年議員は何を考えているのか、全く与党とかわりがないように思われる。一時的私権制限は止むを得ない非常手段なのだ。

△預貯金の勧めは結構。金を吸いあげれば物価の安定にもつながる。しかし利率を世界一最低にして物価の急上昇を抑制に見ながらタメモノとまでは全く無益だ。換物思想の醸成は遺憾千萬である。本当に預貯金を勧めるなら利率の浮揚は勿論のこと、むしろ物価上昇ベース即ちの預貯金のベースアップ制を取り入れるべきである。正直者に馬鹿を見せまい。しかもその運動は各金融機関は勿論であるが郵便局が主体になってやつののでお互いによく考えてみましょう。

たなら、効果は大いにあがるだろう。庶民を救うために大いにハッスルしてもらいたい。

△順法斗争。全くけしからぬ。あれは無法斗争であると思う。国民一億の怒りが労働の上に結集していること想うべきである。労働をかばう者はホンノ一握りの偏向者だけである。上尾駅の惨状に言葉もない。駅長助役が入院しているのに労組の者どもは一切警備とは許しがたい卑怯者である。しかも楽しかるべき客車貨車の脚に大きな見苦しい落着、厳罰に処すべきだ。

昨年五月黒川村「木」を選定することになり、したので、別記要領により公募します。

### 中里文芸 三月投稿

時習

寺詣り 孫歩ませて しみ渡り  
まがり腰 のして又行く彼岸翁  
の夜 自虐のようなたしの夜

相陽

ねこ柳 好きな水音きいて  
みていると 体温となる シク  
ラメン

大泉

雪のない 雪国いつも狂言囃子  
底の雪かけ落ち倉に酒湧きみつ  
「木」を選定することになり、したので、別記要領により公募します。

### 人生往来

◎産声

氏名 父の名 部 落

斎藤 裕美 盛隆 倉 俣

南雲 隆之 喜雄 通 山

田中 直美 秀雄 田 中

樋口 佳恵 寿次 植 原

藤ノ木 友子 利直 小 出

村山 貴一 正利 宮 中

鈴木 祥二 恒夫 重 地

富井 敦子 百三 上 山

山田 正人 忠明 朴 沢

田中 朋子 民一 小 原

◎昇天

氏名 年 令 部 落

滝沢 フア (女) 重 地

関沢 キノ (女) 倉 下

南雲 ハルイ (女) 堀之内

清水 義次 (男) 山 崎

南雲 孝敏 (男) 堀之内

服部 シノブ (女) 田 沢

## 新年度予算きまる

一般会計 六億五千七百七十一万一千円  
特別会計 一億八千六百三十八万一千円

昭和四十八年度予算案をきめる第一回定例村議会が、去る三月九日より開会され、盛り沢山な議案を慎重に審議し、十七日全日程を終了し閉会しました。

村議会第一日は、恒例の村

### ◇昭和四十八年度予算編成についての施政方針の説明◇

中里村長 藤田五郎

本日(三)に昭和四十八年度予算案を提案するにあたりまして、その施政方針についての所信を表明し御理解を頂きますと共に、今後一層の御協力と御支援をお願い申し上げます。

さて本年も昨年に引き続いての大雪、且暖冬異常でありまして、三月に入り大雪がふるといふ異常天候になりまして毎年この雪国に住む者の宿命を感じますが、漸く春近きと思わせ出候きから帰られる方々を待つ家族の皆様共々に、何となく運動を覚える今日この頃であります。

さてお話をもちまして昭和四十七年度の諸事業も順調に進み、総仕上げの段階に入り、後一歩



村議会で施政方針を演説される藤田村長

点から社会福祉諸施策について十分留意し適切な方途を考慮しております。然し乍ら広大な地域を有し、財政的に恵まれぬ我が村は道路交通の整備をはかる為には、更に莫大なる経費と、年月を要するものと思われ、文化の発展は道路交通の整備からという理念に基づくものであることを御認識頂きたいのであります。

予算の編成に当りましては、国の地方財政計画にその基調を併い成長を促して福祉なしの観

合わせて行おうべきであります。御案内の通り国会審議の遅れから、尚予測し難い事柄も多く、関係諸機関の適時適切な指導を受けると共に、前年の実績、その他予測される点を十分考慮して、財政の健全性を維持しつつ村民の期待に応え、住民負担の軽減と機構の改革、事務の簡素化等により経常経費の節減に努め、村民の住みよい環境づくりの為の事業に、重点的に投入する措置をとりたいと考えております。

各種の事業については長期的構想のもとに計画実施が必要であるという見地に立脚して、地域の実情の把握につとめ、最も効果的な事業の実施を図るよう努力する方針であります。

又各種団体等事業等については、その実施と効果法令の規定等に十分検討を加え地域の実情に応じ関係団体との緊密な連携のもとに監督指導を行い効果の増大を図る考えであります。

村税その他の住民負担については更に積極的の取り組み具体的なる計画のもとに、その軽減を図る考えであり、住民税の税率の緩和措置、及び固定資産税については、〇・一パーセントの税率の引き下げを行うことに致しました。

広域行政について御承知の通り昭和四十七年度に於て津南町に総合福祉センターが建設され

本年四月より年間九千人の利用者を予定し地域の皆様に、勿論中里村の皆様に大いに利用して頂くことに相なっております。

又十日町市内に設置された「と畜場」も新年度から業務が開始される予定でありまして、年間六、六〇〇頭の処理が見込まれ、着々とその準備を進めております。

尚常備消防については本庁舎を新年度より二ヶ年継続で、又分遣所一ヶ所を四十八年度に建設するよう予定し十月一日から業務開始を目途に準備を進めております。

新年度予算は前年度に引き続き農政、土木、社会福祉、教育関係の四つの重点施策として編成いたしました。総額に於て六億五千七百七十一万一千円、前年度当初予算に比し三七・一パーセント増と大規模のものとなりました。

土木関係事業につきましては、当村道路の改良率は僅かに一七・一パーセント、舗装率は亦〇・一パーセントに過ぎませんので、引き続き村道の整備に主力を注ぐ必要があり、本年は清田山線如來寺大原線等十路線について改良を実施し、六ヶ所のアスファルト舗装と十五ヶ所のコンクリート舗装を計画計上致しました。

尚県道の改良工事については前年に引き続き、高田松之山六日町線は程島地区から改良を進め

